

第 48 回全国町並み保存連盟 台北大会宣言

「ふるさとを守り、越境しながらつながる学び」台北宣言

私たちは、「ふるさとを守り、越境しながらつながる学び」という信念のもと、全国町並み保存連盟として初めて海外で開催される大会——台北大会——を共に迎えました。

文化資産は、すべての人々が共有すべき貴重な財産です。その保存と継承を未来へとつなぐためには、地域・言語・世代を超えた交流と協働、そして持続可能な基盤が必要です。

三日間にわたる本大会には、台湾、日本、インドネシア、マレーシア、タイ、ベトナム、ポーランド、シンガポール、ミャンマー、香港など、アジア太平洋各地から 300 名を超える文化実践者が台北に集いました。

基調講演および四つの分科会を通して、歴史街区、都市再生、産業遺産や生活文化といった現代的課題を探究し、文化保存と地域発展の共存・共栄の必要性を示しました。

アジア太平洋各地には、多様な都市・農村景観と豊かな歴史街区が存在し、そこに暮らす人々の生活と密接に絡み合いながら、貴重な文化的基盤を築いてきました。しかしながら、人為的な開発や気候変動の脅威により、都市再開発過程での文脈を無視した開発や、各種災害による文化資産への影響などが、ふるさとの持続可能な発展を阻む差し迫った課題となっています。

私たちが求める持続可能性と保存とは、単に建物の形を維持することだけでなく、生活の豊かさを保ち、文化が日々生まれる営みを尊重することにほかなりません。私たちは、伝統的な美しいものごとを守ることを揺るぎない信念としていますが、同時に謙虚な姿勢で語り続け、一步一步、ふるさとを守るための共通の理解を築いていく必要があります。保存や記憶の継承は、第一の挑戦にすぎません。文化資産を活かして現在に貢献し、歴史の記憶を活用して未来に貢献することこそ、日台共学の第二の挑戦なのです。

ここに宣言します——

私たちはこれからも、地域の力を結集し、アジア太平洋における共学の基盤をさらに深めながら、共にふるさとを守り、学びを分か合い、美しい記憶を大切にしていきます。自らの手で、私たちの誇るべき歴史を定義し、その歴史を私たちだけのものにとどめることなく、世界へと広げていきます。

2025 年 11 月 2 日

参加者 一同

第 48 屆全國町並保存連盟 臺北大會宣言
「家鄉守護・跨域共學」臺北宣言

我們以「家鄉守護・跨域共學」為信念，
共同迎接全國町並保存連盟首次於海外舉行的大會——臺北大會。

文化資產是全民共享的珍貴財產。
唯有立基於永續，並透過跨越地域、語言與世代的交流與協作，方能使保存與傳承，綿延於未來的歲月之中。

為期三日的大會，來自臺灣、日本、印尼、馬來西亞、泰國、越南、波蘭、新加坡、緬甸、香港等地的文化實踐者，超過三百人齊聚臺北。
透過專題報告與四大工作坊，共同探討歷史街區、都市更新、工業遺產與生活文化等當代課題，展現文化保存與城鄉發展共存共榮的必要性。

亞太各地擁有多元的城鄉景觀與豐富的歷史街區，與居民的生活相互交織，構築了珍貴的文化根基。然而，隨著人為開發與氣候變遷的威脅，無論是都市更新過程中的去脈絡化開發，抑或各類災害對文化資產的衝擊，皆已成為阻礙家鄉永續發展的迫切課題。

我們訴求的永續與保存，不僅是維護建築的形體，更是保有生活的厚度，尊重文化生成的日常。我們是如此相信，保存傳統美好事物是我們堅定的信仰，但亦須持續以謙和的態度敘事言說，一步一步取得對家鄉守護的最大公約數。
保存、記憶只是第一個挑戰。活化文化資產貢獻現在、活用歷史記憶貢獻未來，才是台日共學的第二個挑戰。

因此，我們在此宣示——
未來，我們將持續凝聚區域力量，深化亞太共學的基盤，共同守護家鄉，分享學習，珍藏美好記憶，親手定義我們引以為傲的歷史，讓我們的歷史不僅屬於我們，更能向世界敞開。

2025 年 11 月 2 日
全體與會者 共同宣示